



2020年 4月の園だより



すいこう認定こども園



出入口は施錠をお願いします

送り迎えの際には、必ず保護者の方が鍵の開閉をし、施錠してください。園の周りは交通量が多く、とても危険です。出入りの際も声をかけあってご確認ください。みんなで子どもたちを守っていきましょう。

駐車場も台数に限りがあり、集中する時間帯もあります。できるだけ短時間でのご利用をお願いします。



今年も力いっぱい遊びます！

今年は、暖かい日が多かったせいか、園庭の桜は例年よりも早く咲き、近隣の公園の桜もほぼ満開ですが、新型コロナウイルスの影響で、各地でお花見が自粛され、いつもと違う春の風景です。それでも毎年のごとく堂々と花を咲かせている桜が何とも切なく感じます。桜満開の4月。ご入園、ご進級おめでとうございます。これから始まる新しい生活が、子どもたちにとってはもちろんのこと、保護者のみなさんにとりましても楽しいものとなりますよう、職員全員で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

新学期が始まり、進級を楽しみにしていた子どもたちですが、「おはよう」と新しい担任に抱きついてくるお子さんばかりではなく、戸惑いや涙を見せるお子さんもいます。保護者の方も特にこんな時期ですので、発熱や咳など体調を崩すのではないかと心配もあり、泣きたい気持ちでお仕事に向かわれる方もおられるのではないかと思います。初めて集団に入るお子さんは、なおさらのことでしょう。今、泣いている子どもたちが日ごとに表情を変え、あそびに夢中になる姿を想像しながら、今年度も楽しい保育を展開していきます。そうすることが子どもたちの成長はもちろん、保護者の皆さんの安心につながっていくものと思っております。

さて、この3月20日に45回目の卒園式を無事に終え、39名の子どもたちが新しい世界へ羽ばたいてゆきました。39名の子どもたちの姿は、保護者の皆さんにも縦割り活動で、

小さな子どもたちに優しく接していたり、運動会や発表会でも、最後まであきらめずに一生懸命取り組んでいる様子を見ていただきました。卒園式でも子どもたちは、お話をしている方の目を見て、しっかり聞いていました。でもいつもそうなのかといえば、決してそうではなく、遊んでいるときは、力いっぱい走ったり、笑ったり、けんかをしたり、保育者に注意をされて、涙が出たりと、どこにでもいる年長児の姿です。ちょっぴり違うところは、多くの子どもたちに「今、何をしなくてはいけないのか自分で判断し、行動する力が少しずつ育まれている」ということではないかと思えます。

すいこうでは、こういった目に見えない力を育てていくことを大切にしています。目に見えない「考えたり、工夫したり、協力したり、助け合ったり…」などの力を育てていく土台は、乳児期にあります。グループ園ともどもすいこうでも、『0歳からの幼児教育～選択と集中、そして～』というテーマで今年度も保育を展開してまいります。0歳からの教育というと赤ちゃんたちに「何か教えてくれるのではないか」とか「何かできるようにするのはないか」と誤解する方もおられるのではないかと思います。すいこうが考える「0歳児からの幼児教育」とは、赤ちゃんたちが「何だろう」と不思議に思い、例えば、ちょっぴり離れたところにあるおもちゃを掴んでみようとする姿を動かす、つかめた喜びを感じることでできるあそびの場を作ること。そして、「ワクワク、ドキドキ、びっくり！」な心を動

かす経験をたくさんさせてあげ、その思いに寄り添う大人がいることと考えています。赤ちゃんの時からそういった経験をたくさんして、まわりの大人との信頼関係をしっかりと築いておくと、1歳児クラスに進級しても大人に期待をし、主体的にあそびに取り組めるようになり、その意欲は、年長さんになった時、「仲間と一緒に諦めずに何にでも挑戦する意欲」「自分で考えて行動し、良いことと悪いことを判断する力」へとつながっていくのではないのでしょうか。この力は、教えられて身につく力ではなく、あそびの中で考えたり、工夫したり、友だちと協力したり、けんかをしたり、許し合ったりなどのさまざまな実体験の中でしか育まれない力です。そして、子どもたちの姿をいつも笑顔で見守り、驚きと感動を受け止めてくれる大人、「もっとやってみよう」と思えるような環境を作り、一人ひとりの個性を認めながら見守っていく大人の存在が不可欠なのです。「自分の事をわかってくれる大人がいる」という安心感が、「自分は愛されている。大切な存在なんだ。」という自己肯定感を育み、また、非認知能力といった目には見えない力を育てていけるのではないかと考えています。

今年度もすいこうの子どもたちは、コロナウイルスの予防をしながら、力いっぱい遊びます。あそびの中には、たくさんの驚き、発見、工夫があり、まわりの大人は、そこに心を馳せる、そういった毎日を繰り返すことで、明日を楽しみにし、明日に期待を持てる子どもに育てて欲しいと願っています。

園長 上原玲子

ドキュメンテーションについて

各クラスで子どもたちの遊んでいる写真に言葉を添えたドキュメントを制作し、きっぷノートで配信しています。そこには、ただ楽しんでいる様子だけではなく、それぞれの年齢の発達であったり、心の動きであったり、大人にはない感性を皆さんに伝えたくて作成していますので、全てのお子さんが写っていないことが多くあります。自分のお子さんが写っていないと残念に思われる方もおられますが、「今こんなことに興味を持っているんだ」と、その時々を成長を理解し、楽しんでいただけると幸いです。幼児クラスでは、職員も限られているため、頻繁に配信することができませんが、子どもたちの驚き、発見など楽しい姿を見つけた時は、タイムリーに配信できるようにしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。